

支える会通信

No. 82

調布を耕す会を支える会

事務局/〒182-0024 東京都調布市布田 3-20-1

TEL 042-486-1022 & FAX 042-486-0232

小林さんのインド紀行 ❖今回は調布❖

こんにちは、カフェ大好き土日アルバイト勤務の小林です。第3回目はインドのお話ではなく、調布市の各作業所が主体となっている「ほりで一ぱらん」という企画について、書かせて頂きます。

ほりで一ぱらんとは調布市の作業所利用者さんへいつもとは一味違う休日を提案するプログラムです。プログラムの運営メンバーは年度4回開催を目標に、月1回の企画会議を行っています。そして、私もプログラムメンバーの一員として活動しています。(ほりで一ぱらんの詳細は筆者作成の「ほりで一ぱらん会議通信」を確認してください)

私の役目はこのプログラムに学生を呼ぶことで、記念すべき今年度第1回目は9名の学生に参加して頂きました。参加された学生は、ボランティア活動に興味を持っている方や、呼ばれて何となく来た方など、様々でした。しかし、どの学生も利用者さんとしっかりと向き合い、それぞれが活躍してくれました。とても感謝しています。

第1回ほりで一ぱらんの内容は3部構成で、しごと場ではお馴染みの絵本に曲をつけた音楽療法プログラム、肉・焼きそば・餃子などが食べられるBBQ、そしてプールに水を張って水風船や水鉄砲を使いながらの水遊びです。天候にも恵まれ、大盛り上がりの日でした。特に水遊びでは、スタッフも含め参加された皆さんが童心に返り、一心不乱に目の前の人へ水をかける姿が、とても愉快でした。

さて、私は学生を誘う時に、いつも気に掛けることがあります。それはこの学生にとって障害者はどんな存在かということです。こ



の人は偏見に満ちていそうだ、とか、この人は理解がありそうだ、などいろいろ思案しながら人を誘うのですが、最近では、そのような思案こそが偏見なのではないかと自戒しています。彼の目に障害がどう映っているのかを決めるのは、私ではなく彼自身であるということです。実際、ぶらっと当日参加した学生が、その後の打ち上げで、とても勉強になったと目を輝かせながら語っていました。何が勉強になったのか、聞きそびれてしまいましたが、彼なりの「気づき」があったのだと思います。

ほりで一ぷらん今年度第2回は11月25日(土)に調布駅がもよりの「はあと・ふる・えりあ」で行います。現在そこに向けて大学生に声をかけていますが、無理に偏見を押し付けることなく、それぞれが何か気づけるような、そんな場にしたいと思います。



☆ありがとうございます

<p style="text-align: center;"><<会員名紹介>></p> <p style="text-align: center;">* 敬称略、順不同</p> <p>2017年8月18日~2017年10月06日に新規継続で会員になって頂いた方々です。ご協力に感謝致します</p> <p>【正会員】小星忠敬</p> <p>【個人賛助会員】 奥岨希予子 朝日利治 有馬芳枝</p> <p style="text-align: center;">☀ サマー募金 ☀</p> <p style="text-align: center;">* 敬称略、順不同</p> <p>西尾宅司 西尾須美子 西尾匡司 白木幸子 福原洋子 亀田美和子</p> <p>サマー募金 合計 316,000円</p>	<p style="text-align: center;"><u>ほう&れん&そう畑</u></p> <p style="text-align: center;"><< 役員会報告 >></p> <p>2017年9月2日しごと場大好きにて行われ、以下の議題について話されました。</p> <ul style="list-style-type: none">・法人事務局から報告 法人の状況・会計から報告 サマー募金について・暑気払い報告・広報の内容・バザーについて <p style="text-align: center;"><<会員募集中>></p> <p>支える会では、一緒に「調布を耕す会」を応援して下さる方を募集しています。</p> <p>正会員 5000円 賛助会員 3000円です。</p> <p>お知り合いの方々にお声かけ頂きますようお願い致します。</p>
--	--